

生き物カルタ 50音選定リスト

	選定生き物（決定案）	備考・解説
あ	アカハライモリ	準絶滅危惧種。お腹が赤いのが特徴。
い	イノシシ	調査でヌタ場が多く確認されている。「もののけ姫」おっことぬし様のモデル。
う	ウバユリ	日本の山地や丘に自生する多年草。なぜ姥百合というか調べてみてね。
え	エノキ	日本のシンボルツリー。昔から人といっしょに暮らす縁結びの木。国蝶オオムラサキの幼虫の食樹。
お	オオムラサキ	日本の国蝶。準絶滅危惧種。
か	カキ	里山の代表的な果樹。
き	キツリフネ	黄鈞船。黄色い花が吊り下がる姿が愛らしい植物。特定の熊蜂だけがその中の蜜にありつけます。
く	クモ（ジョロウグモ等）	害虫を食べて農園を助けてくれる、実はとっても頼もしい存在。
け	ゲンジボタル	「清流のシンボル」として水質や生態系の健全さを示す指標主とも。わびすけの豊かな水辺の象徴。
こ	コジュケイ	里山に響く独特な鳴き声のキジ科の鳥。
さ	サシバ	絶滅危惧種。タカ科の渡り鳥。里山の豊かさの指標です。
し	シュレーゲルアオガエル	名前の由来はドイツ人学者シュレーゲルだが、実は日本固有種。泡状の卵を産み、美しい声で鳴く。
す	スギ	人工林を構成する主要な樹木。建築材や神社仏閣に使われ、人々の暮らしと文化を支えてきた。
せ	セスジスズメ	背中中の筋が特徴的なガの仲間。
そ	蚕豆（そらまめ）	初夏の季語。鳥や虫も好んで食べる。
た	タマムシ	虹色の光沢を持つ、里山の宝石。
ち	茶の木	日本では緑茶の原料として、古くから栽培されてきた。初冬に可愛い花を咲かせる。
つ	ツクツクボウシ	夏の終わりを告げるセミ。
て	テントウムシ	アブラムシを食べてくれる小さな益虫。
と	ドクダミ	お茶や化粧水など、日々の暮らしに役立てられてきた和製ハーブ。
な	ナンテン	縁起の良い赤い実をつける植物。
に	ニホントカゲ	日当たりの良い場所で見られる青い尾のトカゲ。日本固有種。
ぬ	ヌスビトハギ	「ひつつき虫」として知られる植物。
ね	ネムノキ	夜に葉を閉じる不思議な木。ふわふわした花も特徴的。
の	ノイバラ	日本各地に自生する、里山の縁を飾る白い野バラ。
は	ハチ・ハナアブ	花粉を運ぶ重要な送粉者。農作物や野生植物の繁殖を支え、生態系と食糧生産に不可欠な存在。
ひ	ヒキガエル	絶滅危惧種。日本固有の大型カエル。春に水辺で長い卵紐を産む。
ふ	フクロウ	準絶滅危惧種。夜の森の番人。羽ばたくときに音が鳴らない羽の構造をしているよ。
へ	ヘイケボタル	日本の代表的な蛍の一種。
ほ	ホトトギス	夏に「テッペンカケタカ」と鳴くカッコウ科の鳥。托卵する習性をもつ。
ま	マツモムシ	背泳ぎでスイスイ泳ぐユニークな水生昆虫。
み	ミゾゴイ	絶滅危惧種。薄暗い森に営巣する珍しい鳥。
む	ムササビ	準絶滅危惧種。夜空を滑空する森の忍者。
め	メジロ	甘い蜜を好む、目の周りが白い鳥。日本の春の象徴。
も	モノサシトンボ	胴体に目盛りのような模様があるトンボ。
や	ヤマトシジミ	カタバミを食草とする小さなチョウ。
ゆ	ユズ（柚子）	里山の恵みを感じる果実。
よ	ヨモギ	昔から身近に利用されてきた野草。
ら	蘭（野生ラン）	野生の蘭。
り	リスアカネ	里山の水辺で見られる赤とんぼの仲間。
る	るり色の地球	広い視点で自然環境を捉えるメッセージを応募します。
れ	レンコン（ハス）	ハスの地下茎がレンコン。花は仏教文化にも深くかわる象徴的な花。地下茎は食用として広く利用。
ろ	ロウバイ	冬の寒さの中で香る黄色い花。甘い香りが観賞用として人気。
わ	わびすけ	私たちの活動の場そのもの。
を	青竹（あをたけ）	昔から身近に利用されてきた。日本最古の物語が「竹取物語」。
ん	ニンゲン	生物多様性の一部である、私たち自身。